

フランス日和～マルシェ2015

Fête Française à Hirosaki 2015



2015年9月26日、蓬萊広場で「弘前×フランス」プロジェクトの学生主催イベント、「フランス日和 マルシェ2015」を開催しました。

2回目となる今回は、マルシェの日に発行したリーフレットやこのリーフレットの発行を含め、弘前大学人文学部の地域志向プロジェクト型科目「地域と世界をつなぐ」の履修生で立ち上げた団体「弘前グローバル・アクション」で弘前市市民参加型まちづくり1%システムを申請し、補助金を得ての実施となりました。

昨年度のマルシェで出店・協力して頂いた弘前あさいちの出店者、NPO法人harappaや弘前市ペタンク協会の方に今年も来て頂き、更に新しく、チリンチリンアイス屋さん、カフェ、手仕事グループのお母さん方に出演して頂きました。

好評の試食試飲やメッセージカード作りの他、昨年度のアンケートを踏まえ音楽を追加し、過去のイベントで交流のあったBix & Marki(フレンチ・ポップ・ジャズ)、弘大の津軽三味線サークル有志によるステージ(通常の曲に加えてフレンチポップスの演奏も!)を開催し、盛り上がりを見せました。

残念ながらマルシェ当日は天気が悪く、途中小雨が降ったりもしましたが、広場には人が絶えず、賑わいやフランスっぽい雰囲気が出せたと思います。

今年のアンケートからも、前回よりバージョンアップしたイベントへの好意的な感想、今後への期待が多く寄せられました。来年度も広場にいる人全員が楽しめるイベントにしていきたいです。



また今年プロジェクトでは、9月21日～27日を「弘前×フランス」週間として、マルシェ以外にリンゴ収穫祭でのイベント、中三1Fのギャラリーでの「ひろさき・ゆかりのフランス地方紹介」(昨年度の学生海外PBL報告展示と写真展)シールドル技術/観光戦略で弘前市と関係構築しているカンブルメール観光局理事長・ボサール氏講演、まちなかトークセッションなども開催し、とてもフランス色の濃いイベントになりました。



・9/19-20 リンゴ収穫祭でのイベント:チーズとシールドルのマリアージュ投票(写真左)
 ・9/21-27 学生によるシールドル街道の報告を見るブーヴロンの村長ら(写真右)



・9/23 百石町展示館でのボサール氏の講演(写真左)
 ・9/26 マルシェ後に行われたボサール氏、慶応大の國枝教授、シールドル工房kimoriの高橋代表による「弘前×りんご×フランス」がテーマのトークセッション(写真右)

■弘前大学フランス語ホームページ
 Place de la Francophonie/「フランコフォニー広場」
 → <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/french/>

Twitter Facebookへも、サイドバーから簡単にアクセスできます。

■Twitter「豆知識・豆情報も積もれば... 山となる!!」
 → https://twitter.com/Hirodai_French

■Cercle Francophone/フランス語サークル
 HPのオフ会活動 Cercle Francophone/フランス語サークルは、いつでも誰でも参加自由。活動報告、イベント予告は、HP更新前でも、まずFacebookページでチェックできます!

編集:弘前大学人文学部3年 菊池 つづら
 プロジェクトの正式名称:複言語・複文化教育プロジェクト(フランス語モデル)
 「平成27年度弘前市市民参加型まちづくり1%システム」対象事業



弘前グローバル・アクション
 発行

第5号

「弘前×フランス」
 プロジェクト

まちをキャンパスに!

